

今号のわだい

- 【1面】第66回定期大会の概要
秋の集会・18年度スケジュール
- 【2面】大会の討論から
- 【3面】役員名簿・大会アンケートなど



全 国 労 働 組 合 連 合 会
 厚生連
 〒110- 東京都台東区入谷
 0013 1-9-5
 TEL 03-3874-3591
 FAX 03-3874-3593
 発行日 毎月20日 定価 30円
<http://www.zenkouro.org/>



K's station成功に向けて「コーヒーカンパ」に取り組む青年部

全厚労は、9月7～8日、神奈川県のローズホテル横浜にて第66回定期大会を開催、前日未明に北海道で発生した大地震により、やむなく北海道の仲間達は参加できませんでしたが、18県141名が参加しました。大会ではこの数年間の様々な活動が報告されました。全厚労の「生活と医療と平和を守る」スローガンがひとときわ輝く時代になっています。

主催者あいさつで畑中剛 喜中央執行委員長は、豪雨災害や大震災の被災者へのお見舞い・お悔やみの言葉述べるとともに、相次ぐ被災の拡大に水害カンパと合わせ震災カンパにも取り組むことを報告、また情勢として、農林年金法の改正、地域医療構想の動きが進む中で、全厚労の基本方針である組合員の生活と権利を

守り向上させること、厚生連医療を守り地域医療を充実させる運動を共に助け合っ
 て進めていこうと訴えました。

また来賓あいさつで、森田しのぶ日本医労連中央執行委員長は、社会保障「改悪」が非常に早いテンポで進んでいること、「働き方改革」も規制緩和でなく、より厳しい法規制こそが必要

「生活と医療と平和を守る」
 スローガンがひとときわ輝く時代に
 全厚労第66回定期大会

大会は松尾見書記長の議案提案に続き、各県・専門部からの発言で方針を補強し、第1号議案（総括・方針）、第2号議案（予算）とも全会一致で採択されました。（2～3面参照）

今年の大会から「受け入れ県（加盟各県を巡って大会事務局も各ブロックから2名ずつ選出してもらいました。北海道大地震で急遽参加できなくなった代議員・事務局の代わりに、富山・三重・徳島の専従さんが事務局に加わって頂き、無事2日間の大会を終えることが出来ました。ありがとうございました。」

全国の仲間の協力で
 定期大会は成功裏に

要なこと、医療・介護労働者がいまや800万人と増加する中で、医療産業別労働運動に結集する仲間がより多くなることが職場の諸要求実現にも大事だということを強調されました。

‘18秋の各種集会のご案内

- 10月6～8日 ●K's station in 秋田
 14:00～ 秋田県仙北市・あきた芸術村 温泉ゆぼぼ
 集会キャッチフレーズ
 「秋田だよ 全員集合!! 仲間作りに来てけれ」
 全国から集まった青年でグループになり、離職しない職場づくりのためのグループワークや角館観光、学習ゲームなどに取り組みます。
 参加費：39,800円（2泊5食）
- 10月11日 ●憲法・暮らし・いのちまもる国民集会
 13:00～ 日比谷野外音楽堂～銀座パレード
 ゲスト：菱山南帆子さん（障がい者施設・生活指導員）
 TVニュースでも有名。国会前行動の女性・名コラー！
 全厚労は先頭集団で「サウンド・デモ」に参加します！
- 10月12～13日 ●第32回幹部・看護師集会（神戸）
 13:30～ 兵庫県神戸市・チサンホテル神戸
 集会テーマ（看護闘争のスローガン）
 「知って、知らせて、組織する」
 特別企画：「健康で安心な職場（ヘルシーワークプレイス）」を目指して
 講師：奥村元子さん（日本看護協会労働政策部看護労働課）
 ※「質疑応答」形式で職場の具体的な悩みや問題を話し合います。
 職場毎（急性期、地域包括、回復期など・・・）の分散会
 参加費：22,000円（全日程）
- 11月16～18日 ●第35回医療研究集会（静岡）
 13:30～ 静岡県静岡市・静岡市民文化会館
 集会テーマ：
 「離職が止まらないのはなぜ？
 一緒に考えよう 地域の未来（こと）」
 学習報告&全体討論（5部構成）
 講師：鈴木土身さん（鹿角の医療と福祉を考える市民町民の会）
 分科会：①「医療労働者と地域とのかかわり」、②「仲間（職場・地域）とつながり『働きがい』を見出そう!」、③「病院を地域に開く」、④「いのちを守る厚生連の役割」
 宿泊：中島屋グランドホテル・静岡北ワシントンプラザ
 参加費：※38,000円（全日程・2泊5食）

全厚労2018年度スケジュール表

日程	全厚労の取り組み	日本医労連等の取り組み
9/7～8	第66回定期大会（横浜）	4～5、看護要求実現交流集会
28～29	第1回中執（拡大学習会）	19、戦争法成立3周年 27～28、医労連共済全国集会
10/6～8 12～13	K's station in 秋田 幹部・看護師集会（神戸）	11、憲法くらし命まもる集会 14～15、医労連共済全国集会
11/6～7 16～18 30	第2回中執・省庁交渉 医療研究集会（静岡） 第1回看護委員会	14～15、対政府中央行動 23、地域医療を守る集会 29～30、19春闘討論集会
12/ 14～15	拡大中央執行委員会 （委員長・書記長招集会議）	
1/ 18～19	春闘討論集会（中央委員会） 春闘方針決定	16～17、中央委員会
2/2～3	西日本ブロック春闘討論集会 各ブロック春闘討論集会	
3/9～10	東海ブロック春闘学習会（愛知） 地域宣伝・アピール行動 相互激励行動（メッセージ・団交参加） 回答指定日	中旬、回答指定日
4/ 17～18	春闘推進ゾーン 拡大中央執行委員会	1、メーデー ナースウェーブ行動

※いずれも詳細・申し込みについては、各県労組もしくは全厚労本部へ

第66回定期大会発言より

大会では5つの専門部と13県から合わせて21本の発言がありました。概要ですが紹介します。(記載は発言順)

粘り強い交渉や運動で賃金・労働条件の前進へ

愛知・杉山宗平

2012年に策定された財務改善計画を職員の努力等により4年前倒しで達成、18春闘では、17年ぶりに賃上げを要求した。4分の1号俸アップを要求したが結果は定期昇給で、過去の頑張りや評価せよとの粘り強い交渉で、会は「評価不十分との職員評価があれば、今後の難局は乗り越えられない」と再々考され特別賞与として一時金3万円の回答で妥結した。

徳島・榎口浩之

18春闘では5千円のオペ室手当新設と日宿直手当の100円アップ、一時金支給率の59歳以上にプラス5万円の改善を勝ち取った。また看護研究の取り扱いに對して、1研究に対して最大限5日間の日勤扱いなど条件を整備した。人事考課制度では、職員へのフィードバックが全くなく、2回連続のマイナス査定でも納得のいく説明や指導もされない状況があり、人事考課制度を止めるよう秋闘で取り組んでいきたい。

富山・浦田孝之

農政局より、固定比率100%達成の行政指導が入り、計画ではH30年度が最終年度になっている。一時金の結果は厳しいが55歳以上の支給率の改善という面からは前進した。薬剤師ではほぼ

要求通りの確保ができ、看護師確保の課題も進めたい。春闘では引き続き「減額措置のない定昇」が課題、扶養手当の要求では額はまだまだだが、子ども一人に対して一律額に改善させた。8月16日が稼働日となる一方、休暇取得の方法も改善した。

高知・西田和真

今年4月より1病棟で12時間夜勤が労使間の話し合いなく施行開始となった。労・西日本ブロックも入って交渉、「試行についての労使協定」を交わした。その後、突如夜勤専従の提案があり、さまざま抗議し、団交で撤回させた。この間もコンサルを使った「人事考課」の提案や、過去の確認書を反故にして、人事考課を行い、昇給・昇格していない職員がいることも判明した。今も交渉を続けている。

茨城・宇留野正志

16秋闘の闘いで、働き続けられる労働条件は地域医療を守る上で重要だと感じた。会は「ポイント制退職金制度」導入を提案したが、「不利益変更は認められない」「凍結期間分について不利益にならないようにする」との協定を反故にするものは認められない」と1年間の協議で、「ポイント式」にはなったものの現行制度内容で決着した。その他、57歳役職定年制の廃止、再雇用職員の賃金引き上げ、

長野・小林吟子

一時金2分の1支給、6卒業薬剤師の格付け引き上げ等を実施させている。

秋田・奥井明子

1987年以降、問題となってきた58歳以上の年間手当減額について、30年以上要求し続け、昨年度に引き続き8割から9割へと改善させた。残る58歳以上の「定昇停止、退職金の年数不算入。9割支給」が課題。12年間の運動で、鹿角に精神科常勤医2名赴任したが、今度は産婦人科の集約が起こり、住民による産婦人科を守る会が立ち上がった。チラン配布等の活動が始まった。高度専門士の調査で会が4大卒の本俸・調整手当の改正に向けて議論に入ることになった。

神奈川・関谷幸夫

10年前、長時間労働でメンタルヘルス不全になった職員が、職場復帰後、パワハラを受けているとネット経由の労働相談で神厚労に加入した。会と交渉する中で、職場配転で仕事をすることがなくなった。その後、ぎっくり腰を起こし、労災で治療しており、本人が働きやすいよう業務について相談している。

福島・齋藤文子

上司のパワハラにより過去10数名の退職者を出してきた職場で、組合員の労組への相談を受けて会と交渉し、上司へ指導させた以後パワハラは悪化した。本人は適応障害で休職、昨秋に裁判を決意し、労組も支援することにした。17秋闘ではハラスメント規定をパワハラ、セクハラなど全てのハラスメント対象とさせた。裁判の方は、一度は和解の方向が模索されたものの被告側が一切の口外禁止を持ち出し決裂、裁判継続となった。個人署名は1万筆を超え、会への要請も集まっている。働き続けられる職場を作るため、早急に解決させたい。

看護・中村優

看護委員会では重点目標を「サービスマン」と「長時間労働」に置き、3カ年計画で取り組んでいる。昨年の看護現場実態調査では、厚生連職場の厳しさが明らかになった。最終年度である18年度は、看護協会が出した「労働安全衛生ガイドライン(ヘルシーワークプレイスづくり)」の活用含めて取り組んでいく。秋の幹部・看護師集会は、「知って知らせる組織する」をメインテーマに職場別分散会と質疑応答形式の学習会で、職場改善の方法を学び考える予定。

新潟・大平雅浩

中条第2病院(精神科)での医師不足による病床見直し・削減と、併設の老健では譲渡・廃止の提案がなされている。老健では今年5月末に常勤医師が退職し、事務長が施設長代行しているが半年の経過措置を迎えようとしているところで、存続に取り組んでいる。左渡にある真野みずほ病院でも病床の休床が提案されている。島内唯一の精神科病棟であり、医療を守る面からも職員雇用の面からも分協議し、守っていききたい。三条総合病院と労災病院との合併がH35年開院予定で進んでいる。いまだ将来状況が見えておらず、職員の不安もある。約3年前に賃金・手当の合理化提案があったが賃金・労働条件を守ってこそ労働組合。現在及びこれからの職員を守り、厚生連としての人材育成をしていくために奮闘したい。

熊総芳・阿部恵美



会の様々な提案にしぶとく対応してきた経過を語る西田和真さん(高知)

住民・患者とともに地域医療を守る取り組みを

三重・坂加代子

地域医療構想が各県で進んでいる。公的医療機関等2025プランは、各病院の将来・方向性が示されており、組合としても認識しておく必要がある。進まない地域医療構想に国はアドバイザーを派遣し、病床削減を加速させている。松坂区域では3つの公立・公的医療機関(市立・済生会・厚生連)が整理・再編されようとしており、市民病院のあり方委員会は基幹3病院の「集約化・重点化」を検討している。全厚労としても情報共有、発信等をお願いしたい。

医療研・奥井明子

医療崩壊が始まっている。多くの厚生連で人件費削減等により労働者への攻撃があり厚生連医療を破壊しようとしている。地域住民との交流が必要である。厚生連医療の原点を知る必要がある。医療研究集会は厚生連医療の原点を知るには重要であり、住民と共に働く医療をコンセプトに開催する。第35回医療研究集會にぜひ参加して欲しい。

女性・天野菊美

女性集会は財政問題により、2年間、労働学校の分科会として行った。母性保護月間のポスターは公募方式で、採用者には「東日本被災地支援カタログギフト



K'sと青年部の役割について訴える青年委員会の三浦拓也さん(秋田)

終年度になっている。一時金の結果は厳しいが55歳以上の支給率の改善という面からは前進した。薬剤師ではほぼ

職場・地域を守るため 強く大きい労働組合へ

茨城・藤田 周

16秋闘では組合に結集する意味、意義を組合員一人ひとりが実感できたからこそその闘争が出来た。しかし例年より看護師中心に退職者が増え現場は深刻な状況にある。会は地域医療を守ることもより収益確保、計画達成を最重点にして、増員でなく人をやりくりしている。執行委員長の管理職昇格・本所異動という不当配転問題では、「組合弱体化」の本質を学習し、内示を撤回させた。運動には財政が重要だが、どんな運動があるのか、なぜ運動が必要なのかを学び力にすることが欠かせない。

青年・三浦拓也

今年度の委員会は2回開催。2回目は5月拡大中執に合わせ、各県負担で参加し財政を節約した。今回のKsでは、「ひとりぼっちを作らない青年集会にした」とテーマを「秋田だよ全員集合!! 仲間作りにきてくれ」に決定した。若

手職員の離職が止まらないという課題をなんとかしようと「こんな職場だったら辞めたくない」をテーマにグループワークを行い、働きやすい職場づくりを一緒に考えたい。青年部活動は組合活動の入り口だと思う。財政確保にコーヒーカーンパも始めて、5万円近く集まった。皆様ありがとうございます。

茨城・畑中幸世

3選を目指す安倍政権は数々の悪法を強行採決し、厚生連職員も有事となれば戦場に送られかねない。軍事費が増える一方、医療・社会保障費が削減され、このままでは憲法25条の生存権や28条の労働三権もないものにされかねない。この危機感から茨厚労は4年前から平和委員会を発足させた。原水爆禁止世界大会は13名で参加し学ぶ中で、平和憲法の下でこそ、今の生活が安心できるという事を感じた。福島原発事故でも今も苦しんでいる方がたくさんいる。基本的人権が守られる世界をつくってこ

平和・阿部恵美

平和の取り組みを担当中執で対応してきた。3・11ビキニデーには7県27名で、青年も多く参加してくれた。広島・長崎に向けての平和大行進も各地で行われた。8月の原水爆禁止世界大会には10県62名が参加し、分科会等でも学習を深めた。ヒバクシャの志を引き継いでいくのは私たち。今後とも全厚労として参加を広げて学んでいこう。

新執行部へ調査と 対策を要望

長野・茂原宗一

現在、導入されている地域職員制度や人事考課制度についての具体的な実態調査と対策、定年延長に伴う給与・労働条件の動向、週32時間労働制度などの働き方改革に関連する制度についての調査を行うことと、戦後、厚生連病院の厳しい経営の時に県立移管ではなく厚生連にという選択をした歴史、厚生連病院とは何かという事について、共通認識にする論議を、ぜひ新体制で行って欲しい。

言いたい劇場

小菅りや子



大会アンケートより

参加者から集めたアンケートより一部紹介します。

1. 大会討論で印象に残った発言

○(広島) 看護師の週休3日制、とてもうらやましく思いました。しかし、現実問題として一人休むと日勤の人数が少なくなるため、残業が増えるのではないかという思いがあります。もう少し実態を知りたいと思いました。

○(徳島) 人事考課制度において、指導・是正を行わずして評価のみで能力を決めつけ、本人の知らないうちに給与に反映させる制度は人としてどうかと思った。警告を行った上で、導入するなら分からなくはないが、そのままならただのパワハラに感じる。

2. 方針に関連して

○地域医療を守ることと経営が成り立つことの両取りができる方法の発明が必要だと考えます。
○全厚労が介入した事例について資料が欲しい。

3. 職場で抱えている問題、全厚労に対して

○まずはどんな形であれ、組合の活動に参加することが大切だと思います。活動内容を知って組合の存在意義を知ってもらい、興味を持ってもらう事が組合の発展の為に大切だと思います。
○自分の所属している病院はもちろん、組合全体の問題に自分の意見を伝え、全体で意見を交わし討論して解決していきたい。

大会への メッセージを 頂いた組織

- 全国組合
 - 全医労 全日赤
 - 全JCH O労組
 - 全労災 国共病組
 - 公共労

●県医労連

- 北海道 青森 山形
- 福島 長野 福井
- 茨城 埼玉 東京
- 神奈川 山梨 愛知
- 滋賀 兵庫 奈良
- 岡山 広島 愛媛
- 福岡

●友誼組合・団体

- 特殊法人労連
- 全農協労連
- 民放労連

(順不同)

大会役員

●議長団

- 藤城 宏昭 (愛知)
- 花澤 直樹 (長野)

●議事運営委員会

- 佐々木芽衣 (秋田)
- 阿部 恵美 (埼玉)
- ★斯波 貴弘 (岐阜)
- 西田 和真 (高知)
- 安本真理子 (中執)

●選挙管理委員会

- ★大島 賢治 (大分)
- 藤田 周 (茨城)
- 天野 菊美 (静岡)
- ★印は委員長

●大会事務局

- 大会書記
 - 田邊 将寛 (広島)
 - 富永みち子 (広島)
- 大会運営補助
 - 野崎寿美枝 (富山)
 - 春原 晶子 (長野)
 - 小川 誠貴 (茨城)
 - 鈴木 里予 (愛知)
 - 池滝 和史 (三重)
 - 藤井 有子 (三重)
- 次期選挙管理委員
 - 三北 北海道
 - 関信 長野
 - 東海 岐阜
 - 西日本 徳島

2018年度 全厚労役員

●中央執行委員長

畑中 剛喜 (三重・再)

●中央副執行委員長

中村 悟 (秋田・新)

花澤 直樹 (長野・元)

辻 英晶 (愛知・新)

岩本 一宏 (広島・再)

●書記長 梶 晃 (本部・再)

●書記次長 安本真理子 (茨城・再)

●中央執行委員 岡野 学 (本部・新)

長瀬 真幸 (北海道・再)

三浦 拓也 (秋田・新)

齋藤 文子 (福島・新)

和田 祐輔 (新潟・再)

吉滝 和彦 (富山・再)

高橋 大和 (長野・再)

斉藤 美晴 (埼玉・再)

岡部 義秀 (神奈川・再)

辻本 英範 (静岡・新)

斯波 貴弘 (岐阜・新)

岡野 元保 (三重・再)

高本 奉彦 (広島・再)

松田 純一 (山口・再)

川田 祐生 (香川・新)

島山 宗 (徳島・再)

由比 智一 (高知・再)

中野 綾 (大分・再)

●会計監査 大平 雅浩 (新潟・新)

平林 誠一 (長野・再)

松野多希子 (山口・再)

●退任された役員 中央執行委員長

中村 秀也 (秋田)

畔上 稔男 (長野)

川橋 康彦 (愛知)

●中央執行委員 折笠由美子 (福島)

望月 健史 (静岡)

鈴木 清 (岐阜)

友枝 諭志 (香川)

●会計監査 上釜 宝志 (福島)



退任された役員の方皆さん: 左から、望月、上釜、鈴木、折笠、友枝、畔上、川橋、中村(敬称略)

頑張る仲間 各県この人

各県・現場で運動に、趣味に、仕事に頑張る人々を紹介するコーナーです。
第134回は静岡と徳島をお願いします。



静岡 出口龍士さん

平成28年4月に行われた新人歓迎会で護身術を披露してからはや2年半が経ちました。どうも、静岡厚生病院4A病棟准看護師の出口です。はじめましての方はよろしくお祈りします。

刑務所という特殊な環境からの転職だったため、初めは戸惑う事ばかりでしたが、4A病棟の先輩や上司の方々の温かい指導の下、毎日幸せをかみしめながら、何とか勤務をこなしております。最近は趣味に興じる時間も徐々に増えてきており、病棟内でガンプラ部を立ち上げ、お互いの作品を写真にとりみんなで見せ合うといった活動もしております。

毎年、後輩が入職し、後輩に仕事を聞かれることが多くなってきました。後輩に教える事は自分自身の勉強にもなるので、一緒に勉強するつもりで後輩に指導しております。こんな自分ですがこれからも宜しくお願いします。

徳厚労でともに労働組合で活動する、天野智行さんを紹介しします。

天野さんは、一昨年より徳厚労の仲間になった阿南中央病院で理学療法士として、バリバリ仕事をしながら、労働組合の運動でも日々奮闘しています。

普段は真面目な性格の方ですが、実はお笑い好きな一面があり、テレビ番組やDVDを見るのは勿論、休みの時には「ルミネ the よしもと」や「なんばグランド花月」に遠征する程の熱量があります。

こんな熱い天野さんを見かけても、「ザ・たち」に似てるといじるのは止めてあげてくださいね(笑)



徳島 天野智行さん

読者の声

サービスクラスが当たり前のように生活の仕様に仕事をしているのか、仕事のために寝ることを生活というのかわからなくなっていた時期がありました。今は少しづつ改善されたように思いますが、夜勤明けで目の下にクマを作りながら「帰って家の事やらないと」と「ふらふらになりながら退勤される看護師さんを見るのは心配です。」(富山)

更に改善していきたいですね。(TM)

16時間夜勤は日本だけと聞いてビックリです。早朝に1時間前には出勤し、帰りも10時近くになり、18時間以上働いているのが現状です。(長野)

世界から見ると異常な働き方ですね。一般的な(夜勤や交代制のない)職場から見ても異常な働き方に見えるそうです。夜勤を短くし、定時で帰る運動を進めていきたいと思います。(OK)

男だから男らしく、女だから女らしく…。僕が学生的时候は看護師が看護婦と呼ばれ、女性の仕事と思われていたが、最近では男の看護師と当たり前のよう

に仕事を共にしています。医療の仕事では割と差別にとられない職場になりやすいので、まずは病院機関から取り組んでいくと社会に浸透しやすいのかなと思います。(静岡)

たとえば保育現場でも、昔は保育さんと呼ばれ、現在は保育士で男性の保育士さんも沢山いますよ。ジェンダーにとられない社会になるにはとても難しいですが、私たちから発信し、取り組み、ジェンダー差別のない世界を目指しましょう!!(SN)

- ### ヨコのカギ
- 1 エンゼルス の背番号17 ……選手
 - 4 ゴビ……。サハラ……
 - 6 花言葉は「愛情」
 - 7 金田一さん……。ですよ
 - 9 衣服や道具をしまっておく物置用の部屋
 - 11 いつの時代でも老人になると言います「……の若い者は」
 - 13 竜宮へ行った太郎さん
 - 15 組織や団体などで重要な鍵をにぎる人
 - 16 代表的な洋菓子
 - 18 草かんむりに鳥は？
 - 19 マツタケ料理の定番
 - 21 地獄の大王さま
 - 23 ……名は力士の呼び名
 - 24 アイウエオ。……順
- ### タテのカギ
- 1 秋の七草のススキのことです
 - 2 森の人と呼ばれます空にかかる七色の橋
 - 3 秋の味覚の一つ
 - 4 ……も眠るうし三つ時に並べます
 - 5 「銀将」「香車」の間
 - 6 メロ……。刑事……
 - 7 ……ランド
 - 8 夢……
 - 9 地震の揺れ程度
 - 10 肩身の狭い人が集まる……室
 - 11 心身ともに異常なし
 - 12 名古屋名産のうどん
 - 13 うまい酒……。酔う
 - 14 10月第3日曜日は……の日
- 当選者は4・4倍(クロスワード・間かして)でした。

ザ・クロスワード

出題▶モロズミ勝

1	2		3	4	5	
		E				
6			7	8		
9		10		11	12	
13		14				
15				16	17	
18			19	20		
21		22		23		
			24			
	A	B	C	D	E	F

【問題】A～Fを並べてできる言葉は？

【タテのカギ】

- 1 秋の七草のススキのことです
- 2 森の人と呼ばれます空にかかる七色の橋
- 3 秋の味覚の一つ
- 4 ……も眠るうし三つ時に並べます
- 5 「銀将」「香車」の間
- 6 メロ……。刑事……
- 7 ……ランド
- 8 夢……
- 9 地震の揺れ程度
- 10 肩身の狭い人が集まる……室
- 11 心身ともに異常なし
- 12 名古屋名産のうどん
- 13 うまい酒……。酔う
- 14 10月第3日曜日は……の日

自動車共済

3つの特徴

- 1 自動車共済は、組合員のみさんの助け合いで運営されています。
- 2 利益を追求しない掛金設定です。ぜひ、現在お持ちの契約と比較ください。
- 3 基本的な補償内容は、損害保険会社と同様です。

まずはお見積もりを

医労連ホームページ <http://www.irouren.or.jp/>

★契約内容の詳細は、リーフレットをご覧ください。

組合員のための共済制度です

みんなでつくる 大きな安心

医労連共済

お気軽に労働組合の共済担当者まで

0120-160625

今の自動車保険と是非比較してみてね!

教宣部のつぶやき

毎日大運動会!!

以前のつぶやきで犬の話をしたが、1人(匹)から新たに2人(匹)を迎え、3人(匹)となりました。男女男です。お兄ちゃんは3歳、あと2人は5ヶ月でまだまだ子どもです。やっと3人も慣れた、仲良しになりました。3人一気に解放すると部屋の中を走り回り、しばらく大運動会が始まります!!(笑) お兄ちゃんはグロッキーになるほど2人に合わせて遊んでくれています。お留守番が多くこめんね。その分一緒に遊べる時は沢山遊ぼうね!!(SN)